



2026年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月10日

上場会社名 株式会社 リンガーハット 上場取引所 東 福
 コード番号 8200 URL https://www.ringerhut.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 佐々野 諸延
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理担当 (氏名) 峰松 浩一 TEL 03-5745-8611
 半期報告書提出予定日 2025年10月10日 配当支払開始予定日 2025年11月12日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年3月1日～2025年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期中間期	22,399	5.5	790	12.2	844	41.8	511	56.3
2025年2月期中間期	21,236	8.2	704	460.4	595	312.7	326	—

(注) 包括利益 2026年2月期中間期 466百万円 (30.2%) 2025年2月期中間期 358百万円 (432.1%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期中間期	19.72	—
2025年2月期中間期	12.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年2月期中間期	30,465	13,933	45.7	537.71
2025年2月期	29,204	13,647	46.7	526.68

(参考) 自己資本 2026年2月期中間期 13,933百万円 2025年2月期 13,647百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	5.00	—	7.00	12.00
2026年2月期	—	6.00	—	—	—
2026年2月期（予想）	—	—	—	7.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

中間配当につきまして、前回予想の1株当たり5円から1円増額の6円といたします。詳細につきましては、2025年10月10日に公表いたしました「2026年2月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2026年2月期の連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,749	4.5	1,990	17.5	1,994	26.0	1,231	27.1	47.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

今後、開示すべき重要な事項が発生した場合には、速やかに業績への影響を開示させていただきます。詳細につきましては、2025年10月10日に公表いたしました「2026年2月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) Ringer Hut Vietnam Co., Ltd.、除外 1社 (社名) -

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P.10「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4)中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年2月期中間期	26,067,972株	2025年2月期	26,067,972株
② 期末自己株式数	2026年2月期中間期	154,453株	2025年2月期	156,183株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年2月期中間期	25,912,633株	2025年2月期中間期	25,909,759株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(2) 本資料のサマリー情報、【添付資料】「当中間期の経営成績に関する説明」及び「セグメント情報等の注記」に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績に関する説明	2
(2) 当中間期の財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更に関する注記)	10
(中間連結損益計算書に関する注記)	11
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	12
3. 補足情報	13

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済環境は、高い賃上げ率による所得環境の改善が行なわれている一方、緩やかに回復傾向にあった個人消費は伸び悩んでいる状況が見られます。また、円安や物価高の影響、不安定な国際情勢により先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、昨年からの行動制限緩和による外食機会の増加や外国人観光客の増加によるインバウンド需要の回復に伴い、来店客数は順調に回復しておりますが、原材料費・光熱費の高騰や継続的な採用難など、依然として事業を取り巻く環境は厳しいものとなっております。

このような状況の中、当社グループは国産野菜の使用など、食の「安全・安心・健康」に継続して取り組むとともに、『全員参加で、成長へのアクセラを踏み込もう』をスローガンに、企業価値向上に努めてまいりました。また、店舗での電力・動力・ガスの使用量前年比3%削減を目標とする省エネ活動「リンガーチャレンジ2030」を引き続き実施し、温室効果ガス削減に向けて取り組んでおります。

7月に佐賀工場において株主工場見学会を2日間開催し、80名の株主様に参加いただきました。工場見学後には食事を設け、建設的な対話を行うことができました。11月には静岡県にある富士小山工場にて同様に株主工場見学会を2日間開催いたします。

出退店につきましては、国内3店舗、海外2店舗を出店し国内7店舗を退店した結果、当中間連結累計期間末の当社グループ合計の店舗数は、国内631店舗、海外13店舗の計644店舗(うちフランチャイズ店舗154店舗)となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は223億99百万円(前年同期比5.5%増)、営業利益は7億90百万円(前年同期比12.2%増)、経常利益は8億44百万円(前年同期比41.8%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は5億11百万円(前年同期比56.3%増)となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

(長崎ちゃんぽん事業)

「長崎ちゃんぽんリンガーハット」では、夏の冷たい商品として、「豚しゃぶ冷やしちゃんぽん」・「豚しゃぶ冷やしめん」を全国で販売しております。また、東日本エリアでは「夏辛ちゃんぽん」、西日本エリアでは「からまろちゃんぽん」とエリア別で辛みが特徴の温かい商品を販売しております。

8月31日の「野菜の日」にちなみ5日間限定で「長崎ちゃんぽん」「長崎皿うどん」「野菜たっぷりシリーズ」などの対象商品のコーンを通常の10倍増量し販売いたしました。また、野菜を831g以上使用した「野菜たっぷりちゃんぽんMAX」を販売いたしました。

出退店につきましては、国内3店舗、海外1店舗を出店し国内6店舗を退店した結果、当中間連結累計期間末の店舗数は、国内で547店舗、海外で10店舗、合計557店舗(うちフランチャイズ店舗137店舗)となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の既存店売上高前年比率は106.4%となり、売上高は182億66百万円(前年同期比6.6%増)、営業利益は5億94百万円(前年同期比21.5%増)となりました。

(とんかつ事業)

「とんかつ濱かつ」では、季節商品として夏の定番「梅しそ巻」の御膳3種類とランチメニュー1種類を販売しております。和歌山県産紀州南高梅を使用した梅しそ巻との組み合わせとして、今年は新たに夏の味覚である長崎産あじふらいが加わりました。また、甘口でコクのあるカレーを包んだ「とんかつ濱かつ特製カレーパン」を一部店舗で販売しております。7月には、「とんかつ濱かつの夏の米得袋」を数量限定で販売いたしました。

出退店につきましては、海外1店舗を出店し国内1店舗を退店した結果、当中間連結累計期間末の店舗数は国内で84店舗*、海外で3店舗、合計87店舗(うちフランチャイズ店舗17店舗)となりました。(*和食業態の長崎卓袱浜勝を含む)

以上の結果、当中間連結会計期間の既存店売上高前年比率は102.4%となり、売上高は40億39百万円(前年同期比1.1%増)、営業利益は1億59百万円(前年同期比16.1%減)となりました。

(設備メンテナンス事業)

設備メンテナンス事業は、当社グループ内における直営店舗及びフランチャイズ店舗の設備メンテナンスに係る工事受注や機器保全などが主な事業内容であり、当中間連結会計期間の売上高は、9億83百万円(前年同期比8.8%増)、営業利益1億13百万円(前年同期比16.0%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ12億61百万円増加し、304億65百万円となりました。これは主に当中間連結会計期間末が日曜日だったことによる債権回収の後ろ倒しのため売掛金および未収入金が8億2百万円増加したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ9億74百万円増加し、165億31百万円となりました。これは主に長期借入金が増加した13億89百万円増加したこと、短期借入金が増加した9億円減少したこと及び当中間連結会計期間末が日曜日だったことにより社会保険料等の納付のため未払費用4億21百万円が後ろ倒しとなったことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ2億86百万円増加し、139億33百万円となりました。これは主に利益剰余金が増加した3億28百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の連結業績予想につきましては、2025年10月10日に公表した「2026年2月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,257,906	2,782,443
売掛金	1,554,481	1,986,128
商品及び製品	209,205	224,221
仕掛品	66,306	68,083
原材料及び貯蔵品	342,186	345,161
前払費用	275,876	327,480
未収入金	718,314	1,049,329
その他	202,731	219,670
貸倒引当金	△70,501	△70,797
流動資産合計	5,556,507	6,931,720
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,683,298	9,622,511
機械装置及び運搬具(純額)	1,532,754	1,496,488
土地	5,811,467	5,811,467
リース資産(純額)	56,494	46,314
建設仮勘定	137,454	34,756
その他(純額)	1,063,561	1,144,430
有形固定資産合計	18,285,031	18,155,968
無形固定資産	401,013	370,279
投資その他の資産		
投資有価証券	933,001	1,013,086
繰延税金資産	575,368	561,868
退職給付に係る資産	92,718	98,905
差入保証金	832,607	823,654
建設協力金	48,977	45,717
敷金	2,254,363	2,266,088
その他	224,473	197,857
投資その他の資産合計	4,961,510	5,007,177
固定資産合計	23,647,555	23,533,425
資産合計	29,204,063	30,465,146

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	914,080	968,489
短期借入金	900,000	—
1年内返済予定の長期借入金	2,250,452	2,363,015
リース債務	64,960	56,225
未払金	696,883	622,465
未払費用	1,308,079	1,729,365
未払法人税等	318,031	332,573
未払消費税等	396,850	327,287
株主優待引当金	99,467	121,399
店舗閉鎖損失引当金	3,350	2,100
資産除去債務	20,169	15,871
その他	547,642	570,485
流動負債合計	7,519,966	7,109,278
固定負債		
長期借入金	4,917,524	6,306,868
長期未払金	21,836	20,595
リース債務	128,605	114,996
株式給付引当金	117,818	114,661
退職給付に係る負債	1,055,320	1,084,637
長期預り保証金	296,367	290,867
資産除去債務	1,473,684	1,475,199
繰延税金負債	932	853
その他	24,806	13,347
固定負債合計	8,036,894	9,422,026
負債合計	15,556,861	16,531,305
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,002,762	9,002,762
資本剰余金	2,193,474	2,193,474
利益剰余金	2,305,130	2,633,748
自己株式	△342,570	△339,563
株主資本合計	13,158,797	13,490,422
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	477,590	539,166
為替換算調整勘定	△51,064	△149,786
退職給付に係る調整累計額	61,878	54,038
その他の包括利益累計額合計	488,404	443,418
純資産合計	13,647,202	13,933,840
負債純資産合計	29,204,063	30,465,146

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
売上高	20,828,497	21,982,307
売上原価	7,083,901	7,703,263
売上総利益	13,744,595	14,279,043
その他の営業収入	407,800	416,932
営業総利益	14,152,396	14,695,976
販売費及び一般管理費	13,448,076	13,905,736
営業利益	704,320	790,239
営業外収益		
受取利息	2,985	5,045
受取配当金	11,854	14,964
為替差益	10,046	37,389
受取補償金	—	65,139
その他	11,073	9,181
営業外収益合計	35,960	131,721
営業外費用		
支払利息	97,516	55,806
リース解約損	5,020	2,155
支払手数料	22,556	11,872
その他	19,856	7,835
営業外費用合計	144,950	77,670
経常利益	595,330	844,290
特別利益		
投資有価証券売却益	32,899	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	181	—
特別利益合計	33,080	—
特別損失		
固定資産売却損	7,810	—
固定資産除却損	2,539	1,723
店舗閉鎖損失	900	—
減損損失	80,438	34,964
特別損失合計	91,687	36,688
税金等調整前中間純利益	536,723	807,602
法人税等	209,835	296,523
中間純利益	326,888	511,079
親会社株主に帰属する中間純利益	326,888	511,079

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
中間純利益	326,888	511,079
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,886	61,575
為替換算調整勘定	59,680	△98,721
退職給付に係る調整額	5,380	△7,840
その他の包括利益合計	31,173	△44,986
中間包括利益	358,061	466,092
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	358,061	466,092

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	536,723	807,602
減価償却費	964,635	963,950
減損損失	80,438	34,964
リース解約損	5,020	2,155
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△3,836	21,932
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	34,010	29,501
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△11,088	△6,187
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△3,207	△1,250
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,885	295
受取利息及び受取配当金	△14,840	△20,010
支払手数料	22,556	11,872
支払利息	97,516	55,806
受取補償金	—	△65,139
投資有価証券売却損益 (△は益)	△32,899	—
固定資産売却損益 (△は益)	7,810	—
固定資産除却損	2,539	1,723
店舗閉鎖損失	900	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△345,809	△432,076
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△27,478	△20,457
仕入債務の増減額 (△は減少)	143,834	56,895
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△123,049	△64,647
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△451,731	△441,852
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	352,167	470,077
長期未払金の増減額 (△は減少)	5,607	△1,240
預り保証金の増減額 (△は減少)	—	△5,500
その他	85,087	△5,972
小計	1,321,019	1,392,446
利息及び配当金の受取額	14,417	19,644
利息の支払額	△93,145	△56,308
リース解約損の支払額	△5,020	△4,219
補償金の受取額	—	27,600
法人税等の支払額	△159,965	△287,292
法人税等の還付額	—	35,151
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,077,306	1,127,021
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△14,787	5,348
有形固定資産の取得による支出	△1,290,356	△942,686
有形固定資産の売却による収入	18,611	—
無形固定資産の取得による支出	△118	△18,963
建設協力金等の支払による支出	△39,877	△14,193
建設協力金等の回収による収入	52,693	33,185
投資有価証券の取得による支出	△1,529	△1,469
投資有価証券の売却による収入	47,779	—
その他	△57,907	△19,957
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,285,492	△958,737

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△900,000
長期借入れによる収入	5,000,000	3,000,000
長期借入金の返済による支出	△4,671,392	△1,498,093
自己株式の処分による収入	2,312	3,157
自己株式の取得による支出	△351	△150
配当金の支払額	△122,868	△172,065
借入関連手数料の支払いによる支出	△23,288	△11,883
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△41,124	△35,368
財務活動によるキャッシュ・フロー	143,287	385,596
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,825	△23,995
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△74,724	529,884
現金及び現金同等物の期首残高	2,243,465	2,194,634
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,168,740	2,724,519

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

(連結の範囲の重要な変更)

当中間連結会計期間より、新たに設立したRinger Hut Vietnam Co., Ltd. を連結の範囲に含めております。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
給料手当	5,596,407千円	5,830,266千円
賃借料	2,107,433	2,141,281

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
現金及び預金勘定	2,233,168千円	2,782,443千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△64,428	△57,924
現金及び現金同等物	2,168,740	2,724,519

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	長崎 ちゃんぼん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注) 3						
外部顧客への売上高	17,139,633	3,996,337	100,326	21,236,298	—	21,236,298
セグメント間の内部 売上高又は振替高	91	20	804,233	804,345	△804,345	—
計	17,139,725	3,996,358	904,560	22,040,643	△804,345	21,236,298
セグメント利益	488,989	190,696	97,896	777,582	△73,262	704,320

(注) 1. セグメント利益の調整額△73,262千円には、セグメント間取引消去△26,586千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△46,675千円が含まれております。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「長崎ちゃんぼん」セグメントにおいて、当中間連結会計期間中の減損損失の計上額は67,657千円であります。

「とんかつ」セグメントにおいて、当中間連結会計期間中の減損損失の計上額は12,781千円であります。

II 当中間連結会計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	長崎 ちゃんぼん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注) 3						
外部顧客への売上高	18,266,542	4,039,114	93,582	22,399,239	—	22,399,239
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	890,240	890,240	△890,240	—
計	18,266,542	4,039,114	983,822	23,289,480	△890,240	22,399,239
セグメント利益	594,118	159,961	113,531	867,611	△77,372	790,239

(注) 1. セグメント利益の調整額△77,372千円には、セグメント間取引消去△29,204千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△48,167千円が含まれております。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「長崎ちゃんぼん」セグメントにおいて、当中間連結会計期間中の減損損失の計上額は34,964千円であります。

「とんかつ」セグメントにおいて、該当事項はありません。

3. 補足情報

フランチャイズ店舗の売上高を加味した総売上高

期別	項目	長崎ちゃんぽん事業			とんかつ事業			外販事業	その他	合計
		直営店	フランチャイズ店	合計	直営店	フランチャイズ店	合計			
2026年 2月期 中間期 連結累計 期間	売上高 (百万円)	15,195	4,178	19,373	3,659	866	4,526	1,424	88	25,413
	店舗数 (店)	420	137	557	70	17	87	—	—	644
2025年 2月期 中間期 連結累計 期間	売上高 (百万円)	14,334	4,013	18,347	3,632	859	4491	1,287	94	24,219
	店舗数 (店)	425	141	566	70	17	87	—	—	653
対前年比率	売上高	106.0%	104.1%	105.6%	100.8%	100.9%	100.8%	110.7%	94.7%	104.9%
	店舗数	98.8%	97.2%	98.4%	100.0%	100.0%	100.0%	—	—	98.6%

(注) 当社グループはフランチャイズ事業を拡大しており、外部売上高の純粹比較ができるように、参考資料として掲示しております。

なお、連結損益計算書に記載されている売上高は、フランチャイズ店舗から受け取るロイヤリティー収入と材料等売上高を計上しているため、この表の数値とは一致いたしません。